

津田塾大学学芸学部英文学科主催特別講義シリーズ
英語英文学科（2019年開設）異文化コミュニケーション専攻キックオフ企画

鳥飼 玖美子先生 講演会

いま、英語を学ぶということ —異文化コミュニケーションの視点から—

日 時： 2018年6月30日（土）

14:00～15:30（受付開始13:00）

会 場： 津田塾大学 千駄ヶ谷キャンパス
SA305（広瀬記念ホール）

参加費： 無料



通訳のパイオニアとして、また異文化コミュニケーションの第一人者として長く英語に関わってこられた鳥飼玖美子先生（立教大学名誉教授）をお迎えして、いま大きな変革期を迎えている「英語」教育を通して私たちが考えるべき課題、未来像、そして意味についてお話し頂きます。

主要著作：『英語教育の危機』『歴史を変えた誤訳』
『国際共通語としての英語』など多数

【要事前申込（メール）】

件名を「鳥飼先生講演会申込（氏名）」として eibunlecture@tsuda.ac.jp まで、氏名、住所、メールアドレス、電話番号をお知らせください。

英文学科は、2019年に「英語英文学科」という新しい名称のもと、従来のコミュニケーションコースをさらに充実・発展させ、新しく「異文化コミュニケーション専攻」を始動。この専攻のもとに異文化コミュニケーションコースと Japan Studies in English コースをおきます。現代社会が直面している異文化理解について学び、世界中の日本を捉えなおす新たな一歩を踏み出します。

【異文化コミュニケーションコース】

異なる文化的背景をもつ人たちと効果的なコミュニケーションをとるには、どのようにすればよいのでしょうか？ この問いへの探究が、このコースの学びです。基本的なコミュニケーション理論を学ぶとともに、学外での学修・異文化体験、卒論プロジェクトをとおして、異文化理解を総合的に学びます。英語力と異文化コミュニケーションの知識をもとに、実践的な体験をとおして、多様な文化をつなぐ高度なコミュニケーション力を養います。

【Japan Studies in English コース】

グローバル化が進む現代社会において「日本」とは何を意味するのでしょうか。このコースでは、英語圏文化における「日本=Japan」の分析をとおして、「日本」像を再考します。英語で表現された「日本=Japan」を分析的に理解することで、それまで見えなかった「日本=Japan」像を把握すると同時に、そうした「日本=Japan」像の分析をとおして英語圏文化のより深い理解へとつなげます。英語で学び考える授業、学外学修、卒論プロジェクトをとおして、「日本」を新たにとらえ直し、最終的に新たな「日本=Japan」像を英語で発信することを目指します。

